

新宮山彦ぐるーぶ第1990回
台風21号通過後の行仙宿巡回整備

◇実施日：2018年09月09日（日） 小雨のち曇り
 ◇参加者：志岐 敬、梶野照雄。 2名。

9月4日、台風21号が近畿地方を通過、強風で各地に甚大な被害をもたらした。大阪でも街路樹や公園の大木が倒れ、屋根瓦が飛ぶなど、記憶している範囲では第二室戸台風以来の強烈な台風であった。

先週、行仙宿水場の大きな落石を苦勞して取り除いたばかり、水場の状態、小屋周辺の状況が気がかりで、確認のため行仙宿へ行ってきた。



階段周りの整備



第2ベンチ上で倒木



前日に奈良の志岐さんから同行の申し出があり、大和上市駅で待ち合わせR25を南へ、国道沿いに倒木などは無く、いつもと同じ状態だ。お天気が悪いので車も少なく、通常の間で池原に到着。トイレ休憩の後、登山口へ向かう。

R25にも障害は無く林道の分岐まで順調に進む。林道に入っ
 てすぐに、倒れた杉の枝が道路中央付近まで占領しているので鋸
 で切除。以後、登山口までは通常通り。
 登山口鉄階段脇の刈込を志岐さんをお願いして、モノレールを準備する。



小屋横の折れた枝



マキが散乱



元通りに積み直し

レールに障害物がないか、しっかり前を見て登るが、レール周りも、周辺の植林にも倒れている木は無かった。

第2ベンチを過ぎたところで初めての倒木があり、ザックを降ろして鋸で切除する。小屋迄の4か所で鋸が活躍、どれも5cm程の細い木だった。折れた枝が多数落ちていたが、すべて排除した。小屋南に積み重ねていたマキが散乱していたが、志岐さんが元通りに積みなおしてくださった。

小屋内では男性一名が食事中だった。神戸からで、奥駈道の日帰りで歩いているという。今日は白谷トンネル東口から笠捨山をピストンする予定だ。

倉庫と管理棟を開けて内部を確認、管理棟西側の奥駈道に小さな倒木、焼却炉北側でも折れた木があったが、視界の範囲に、

それ以外の倒木は皆無だった。小屋の煙突が北に少し傾いているのが台風の影響と思われる。



煙突が傾いている？

水場には折れた枝あるが落石無し

11時半になっていたので昼食にする。

先週、トイレや管理棟のLED照明が点灯しなくなっていたが、コントローラーが自動復帰したらしく、LED照明は正常に戻っていた。

昼食後、監視カメラの電源を交換、動作確認して作業終了。

工具を片付けて水場へ降りた。水場までにも大きな倒木無し、枯枝は多数落ちていたが排除、水音はかなり上のほうでも聞こえて、流れが強い事がわかる。水場は近年見たことがないほどの濁りになって流れていた。大きな落石を予想していたが、落ちていたのは、長さ3m位の折れた枝が一本だけだった。

先週残してきた小さな落石も、強い流れで押し流されたのか、極端に少なくなっていた。枝は、先をはさみで切って小さくして投げ落とした。

小屋に戻って休憩の後、掃除機で小屋内を清掃。先週は配膳で掃除機が使えなかったので、今日は思う存分使うことができた。

発電機の燃料がほぼ空だったので、携行タンクから給油。空になった携行タンクは持ちおろした。志岐さんは小屋周りの枯枝を掃除してくださる。小屋内の掃除が終わったので、ブロアを出して、志岐さんの掃除を手伝った。



管理棟西側

ガソリン携行缶持ち降ろす

本日の参加者

倒木や落石がなかったもので、予想以上に早く作業終了、午後2時半前に行仙宿を後にした。

今回の台風21号では、近所の倒木や枝折れ、家屋の損傷などを見て、行仙宿では最悪倒木で小屋の損傷やトタンの剥がれなどを想定していたが、奈良県南部は意外にも被害がなくて拍子抜けの感がある。しかし、もう少し標高の高いと所や、尾根の風が通り抜ける所など、地形の条件が異なる場所では倒木があっても不思議ではないと思う。

行動タイム

補給路登山口10:00→11:15行仙宿・昼食12:45→13:03水場↓
13:28行仙宿14:25→15:00補給路登山口。

(記：梶野)